

キャンヘルプタイランド

ネットワーク通信

2008年1月25日発行 第40号

バンコク便り

タイ・バンコク在住の西川会長から

キャンヘルプタイランド会員の皆様、明けましておめでとうございます。

ここバンコクでも、爆弾テロのあった昨年の年明けとは違い、今年は平和に新年を迎えることができました。2008年になって早や1か月、12月からのつかの間の冬も気づかないままに終わってしまっていたようで、ここ数日は真夏の暑さが続いています。

さて、今、タイ人にとっていちばんの関心事と言え、1年5ヶ月前のクーデター以降続いていた軍事政権から、いよいよ民政に復帰することでしょうか。復帰と言っても、前政権を担った人たちが選挙で国政に返り咲き、クーデター前に状態に戻ったと言ってもいいかもしれません。初めはそれなりの期待を担った軍事政権ですが、この1年半、民主的と言われた憲法を破棄し、失政を重ねては経済の停滞を招き、政治的にも汚職問題を解決できずに軍部の利権回復に走るといったイメージを国民に与えてしまい、日に日に支持率を落としていきました。結局、大した成果を出せないままその役割を終えることになりそうです。

そんな中、割と肯定的に受け止められているのが、2月に予定されている喫煙に関する法律の改正です。数年前に前政権がすでに公共の場での喫煙を厳しく制限する法律を作ってはいたのですが、今回、それがさらに厳しくなるというのです。数年前の法改正は、私自身、ザル法になるに違いないと高をくくっていたのですが、数年経ってすっかり定着しています。エアコンの効いているレストラン等での喫煙は禁じられ、店頭での陳列販売は禁止、テレビでも喫煙シーンはモザイクがかけられるようになりました。私が見る限り、隠れて客にたばこを吸わせているのは、日本人相手に営業している日本人経営の日本料理屋ぐらいです。今回の改正で、今まで許されていたパブやディスコなどでの喫煙も禁止されるとのことで、喫煙者には今以上に肩身の狭い社会になりそうです。

私は年に1回のペースで日本へ帰国しますが、その度に感じるのが日本のタバコ天国ぶりです。何かにつけて「遅れている」と思われがちなタイですが、こと喫煙に関してはこちらのほうが先進国に思えてなりません。経済先進国としての地位が揺らぎかけている日本、今度はこういうところで先進国を目指してみてもどうでしょうか。

西川弘達@バンコク

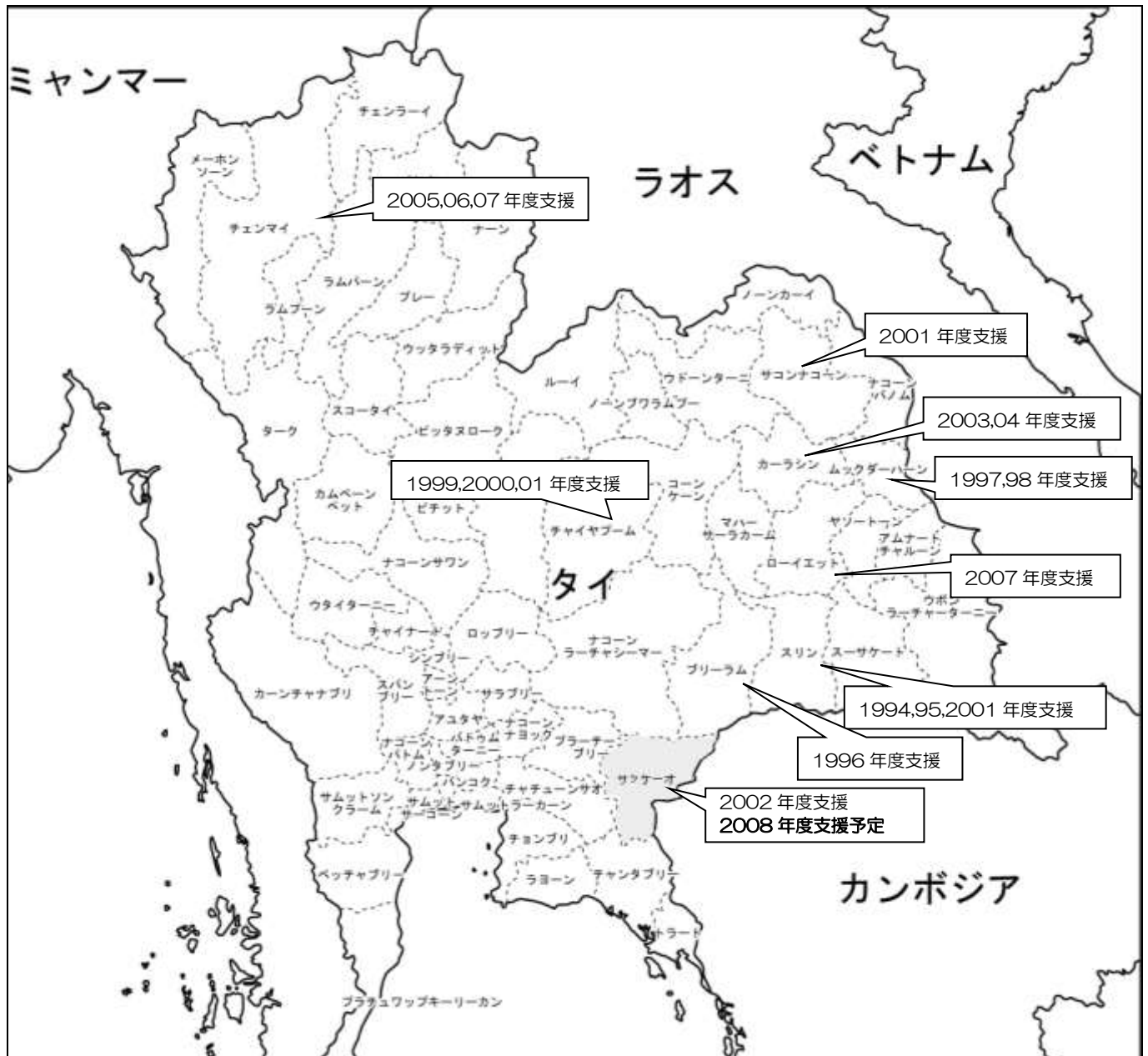
特集記事

～2008 年度ビルディングプログラム実施予定校紹介～

毎年、夏に行われるビルディングプログラムですが、今年はサッカーオ県のバンクロンタマチャート学校での校舎建設が予定されています。昨年の奨学金授与式の時にバンクロンタマチャート学校から「学校周辺の人口増加にともない現在の小学校に中学校を併設したい」という要請がありました。その後の運営委員会で学校からの申請書類や視察報告を検討し支援実施の方向で話し合っていたところへ、ちょうど大口の寄付が寄せられたこともあり今回の校舎建設を決定いたしました。

今回の校舎建設により生徒たちは遠方の中学校へ通学する必要がなくなり、学校周辺地域の中学進学率の改善が見込まれます。建設支援物件は 2 教室棟で、建設予算は 65 万バーツ（約 250 万円）です。そのうち 15 万バーツは学校側の自己資金で賄われ、キャンヘルプタイランドからは 50 万バーツの支援となります。

サッカーオ県の位置と過去のビルディングプログラム実施地域



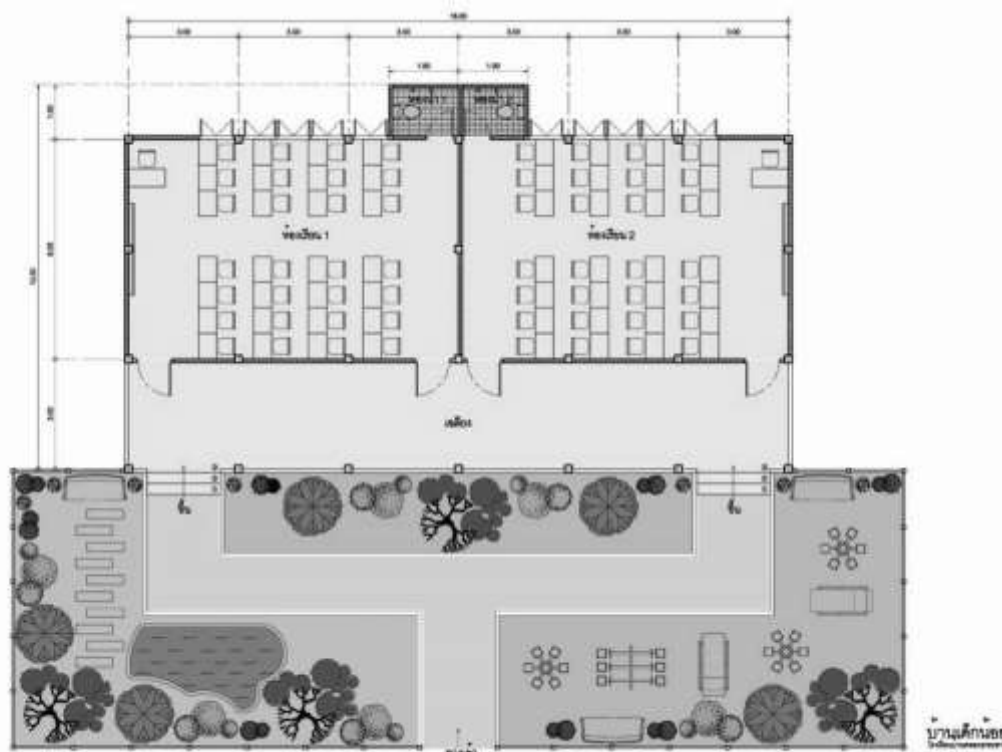
2008年度 キャンヘルプタイランドビルディングプログラム申請書

学 校 名	Ban Klongtummachat School (バン・クロン・タンマチャート学校)
学 校 住 所	29 M.4 T.Nongwa, A.Kaochagan Sakaeo サッケーオ県カオチャガン郡ノングワ村 Moo4 29
校 長 名	Pramot Ammarak (プラモート校長)
担 当 者	Sakkarin Maprang-on (サッカリン先生)

学校データ	
既 存 校 舎	2階建て8教室：1棟 平屋4教室：1棟 多目的校舎：1棟 食堂：1棟 保健室+調理室：1棟
敷 地 面 積	34,000 m ²
学 生 数	231人 (2007年6月現在) 幼稚園から中学1年まで全9クラス (内訳：幼稚園36人 小学生158人 中学生37人)
先 生 の 数	10名 用務員なし
学校周辺人口	約2150人

ビルディングプログラム申請内容	
申 請 物 件	2教室校舎 (中学2、3年生用の教室)
建 設 予 算	総予算 650,000 バーツ 内訳：資材購入費 500,000 バーツ 現地職人人件費 150,000 バーツ (学校側負担)
工 事 期 間	約60日
申 請 理 由	3つの村のうち、1つの村は道の奥にあり、この学校が一番近いが、中学校まで更に7Km あるため、毎年中学に進学しない子供が2～3%いる。そのためタイ教育省に中学併設を申請したが、ここ数年は小学校が小中学校になることをずっと許可しなかった。しかし、最近になって「学校がすべて管理できるのであればOK」という返事をしてくれた。そのため、至急教室を増築し中学生受け入れ、周辺の村の進学率を上げたい。
そ の 他	学校側が独自に寄付を集め工事人件費の150,000 バーツは自己負担が可能。日本からは建設資材購入分の500,000 バーツを支援してほしい。

学校から送られてきた校舎完成図面



活動報告

～2007年夏のワークキャンプ・集会場建設その後の様子～

昨年夏のワークキャンプで建設した集会場兼屋内体育館建設のその後の様子を現地に滞在していらっしゃる亀山 優（かめやま まさる）さんからご報告いただきました。

亀山さんはワークキャンプを実施したブンガーム学校からほど近い、ノンポークの町にタイ人の奥様と邸宅にお住まいで、ワークキャンプの事を人づてにお聞きになり、キャンヘルプタイランドの活動に賛同され、キャンプ後半から建設作業のボランティアに共に汗を流しました。

昨年11月に現地の建設状況を写真と共にお手紙でご報告いただきました。

お便りをご紹介します。

大矢さんご無沙汰しております。お元気ですか。私、毎日元気にすごしています。

皆さんが帰国され早くも3ヶ月近くになります。支援されている学校の集会場の建設現場の状況が気になると思います。9月、10月と私も現場に3、4回行ってきました。10月に入って約10日間雨が続きました。3～4時間の大雨、又一日中小雨が降り続くなどですが、この雨が東北地方の雨季の最後の雨の様に思います。10月12～13日頃からは風も吹いて涼しいというか、朝晩は肌寒く感じます。うす曇り、晴れの日が続き乾季に入ったと思います。

イサンの秋、冬です。水田では新米のもち米が採れ始めました。新米1kg50バーツでした。(180円/1kg)新米ということで少し高価のようです。これから収穫の時期で建設現場の進捗が気になります。次の現場訪問は11月初めにムクダハーンヘビザの更新手続きに行きますので、その時に現場に寄ってきます。これからは雨も降らず一番過ごし易い時期ですから現場も早くできると思います。

今回進行状況3回分の写真を同封いたします。完成は12月頃と聞いていますが又・・・落成式にはメンバーの皆さんが訪タイする様な計画がたてられているようですが実現できる事を祈っています。学校訪問時に、現場の人に完成予定日を伺ってきます。もし皆様の訪タイが決まったら連絡下さいその前にもう一回現場の写真を送れると思います。

日本も秋から冬と駆け足ですね。雪の便りもちらほら、寒くなります。風などひかないように、御元気で!!

メンバーの方々にも宜しくお伝え下さい。

ご家族の健康と、CANHELP・Thailandの活躍をお祈りいたします。

再会出来ることを重ねてお祈りいたします。

亀山



ムさんからの報告

1月18-19日、ロイエット県ノンウェーン・ブンガーム学校に行ってきました。

集会場は屋根のみ完成して、床はまだです。校長先生の話によると、ここ1ヵ月半校長は学校評価委員で他の学校を回って工事はストップしました。今月下旬～2月上旬ころに床工事をスタートさせるそうです。完成予定は3月末だそうです。キャンヘルプタイランドの8月ワークキャンプころに完成式を行いたいのので、みなさんのご参加をお待ちしていますーとのことでした。

ムさんから送られてきたノンウェーン・ブンガーム学校の子どもの写真



乾期に入り農作業がないためゴザを織る仕事を手伝っている学生



ワークキャンプ参加者から送られてきた手記をみて喜ぶ学生たち

活動報告2

～千種ロータリーより「教育支援金」の寄贈～

平成19年10月16日、千種ロータリー「創立25周年記念式典」が厚生年金会館を会場として行なわれました。この記念事業として、キャンヘルプタイランドは会長の宮尾氏より「タイの子どもたちへの教育支援金」25万円を寄贈されました。

この支援金は既報のように19年度のワークキャンプでロイエット県ノンウェーン・ブンガーム校の集会場の建設費として活用させていただきました。

当日は約100名の会員及び招待客が集いましたが、ロビーにはワークキャンプの写真や「20周年事業」で建設されたバンライサムシー校の図書館の写真、資料も展示されて皆さんに話題を提供すると共に、キャンの確かな活動とロータリーの社会貢献を十分に表明していました。

活動報告 3

～奨学生からの手紙～

毎年、多くの奨学生からドナー宛に手紙が寄せられます。そのほとんどがタイ語で書かれているためFREEのムさんや日本各地にいらっしゃる翻訳ボランティアの方々に翻訳作業をしていただいてからドナーのもとへ届けられます。今回のNT通信では、その中でも最近届いた手紙をご紹介します。シーサケット県の高校2年生女の子からの手紙です。



尊敬なるドナー様へ

こんにちは、私は Duanpen Manee と申します。今は Sawong Wittayakom 学校の高校2年1組で勉強しています。私は Srisaket 県の奨学生です。ドナー様に手紙を書かなくてすみませんでした。この手紙は今年の最初の手紙です。奨学金を下さって本当にありがとうございました。私はいいい子になるよう約束いたします。

ドナー様はお元気ですか？私は元気です。今年ドナー様に手紙を書かなかったのはお父さんが病気になったからです。お父さんは薬を飲まなかったけれど、水牛の面倒を見るくらいはできました。この1-2ヶ月私は最後にお父さんと一緒に過ごしました。お父さんが亡くなってお母さんが毎日泣いています。私はお父さんのために托鉢くらいしかできません。

今私はお母さんと弟と一緒に住んでいます。兄2人は結婚して別にすんでいます。今私にはお母さんしかいません。お母さんはとても悲しんでいます。仕事をしている間も、お父さんの名前を呼んで泣きました。

私は今毎日仕事をして学校に持っていくお金を稼いでいます。今は学校があり費用がたくさんあります。お金を一部お母さんに、一部弟に学校に持って行ってもらいます。今はお米の収穫時期で、土日収穫作業をして一日100バーツもらいます。

勉強のほうは落ちません。高校1年の成績は3.41、クラスの一位でした。今年高校2年前期の成績は3.18、クラスの二位でした。

今私のうちはとてもさびしいです。お父さんがいなくてもお母さんのために頑張ります。

最後にドナー様にもう一度お礼を申し上げます。お体に気を付けてください。ご幸福をお祈りいたします。ドナー様と私のお母さんのためにいい子になり、勉強を頑張るよう約束します。できればお返事をください。さようなら。

大変ありがとうございました。

Duanpen Manee

新事務所

～事務所移転のお知らせ～

平成10年よりキャンヘルプタイランドの事務所として使ってきました、NPOセンターのビルも、建物の老朽化や、地域の地価の上昇によって、土地の付加価値を高めるために、近年老朽ビルの建替えが顕著な地域になりました。今回ビルオーナーも老朽ビルの売却や、建替えを視野に、NPOセンターに2008年3月末を以てビルの閉鎖を求めたもので、昨年秋より移転先事務所を探していました。

名古屋駅に近いこの地区はこの2～3年前から地価の上昇が著しく商業用地の対前年地価上昇率は全国1とされています。オフィスの需要も高く、事務所家賃も上昇してしまいました。当ビルにはおよそ20団体以上のNPO、NGO 団体が入居していましたが夫々が事務所を探していたところ、NPO 団体の「外国人医療センター」さんが現ビルの道路を挟んで向い側の日商ビルのオーナーに要請して、この地区としては格安の家賃で入居出来る情報をつかんで来ました。3年後には退去、つまり2010年10月以降は契約を更新しないというのが入居の条件でした。この事務所はおよそ15坪(50㎡)の広さです。このスペースへ8団体が入居します。各団体は机1脚と書庫1セットが占有スペースです。荷物はほとんど持ち込めません。最低限の書類を保管することになりました。雑多な荷物は廃棄と会員の好意に甘えて保管・管理をお願いすることになりました。それでも現事務所と変わらぬ近くに確保できたことは利便性からは満足できました。

新事務所への移転は1月中に準備して、2月2日土曜日より業務開始となります。会員の皆様、新事務所へもどうぞ気軽にお越しください。お待ちいたしております。

新住所 〒450-0003
 名古屋市中村区名駅南2-11-43
 日商ビル2階NPOステーション内
 キャンヘルプタイランド事務局
 電話番号 052-566-5131



イベント

～今後開催されるイベント情報～

○ キャンヘルプタイランド総会

日 時：平成20年3月30日（日）13：00～

場 所：キャンヘルプタイランド新事務所（7ページ参照）

○ 夏のワークキャンプ予告

平成20年8月開催予定

場 所：サツケーオ県バンクロンタマチャート学校

期 間：2週間程度（1週間日程もあります）

費 用：50,000円～60,000円程度（別途航空券の購入が必要）

次回のNT通信に詳細を掲載予定。詳しくは、事務局までお問い合わせください。

運営委員会

（2007年11月～2008年1月）

活動	月日	場所	内容
運営委員会	11月24日	名古屋事務所	事務所移転について。総会の日程等
運営委員会	12月22日	名古屋事務所	NT通信40号発行会議
運営委員会	1月26日	名古屋事務所	事務所の引っ越し

運営委員募集

一緒にキャンヘルプタイランドの運営に参加してみませんか？ 毎月第4土曜日に事務所に集まり、会の運営について話し合っています。見学でも結構ですので是非事務所へ遊びに来てください。

次回の運営委員会は 2月23日（土）13：00～（新事務所にて）です。

編集後記

▼ めっきり寒くなりましたね。こんな季節はタイがとても恋しくなってきました。最近、日本のスーパーでもみられるようになったタイ産のマンゴーですが、そろそろ現地でもシーズンになるころでしょう。日本では1個400円くらいするものが、タイでは1キロ20パーツ（80円弱）くらいでしょうか。タイの3、4月は果物がとても豊富です。とても暑い季節ですが、果物を食べに行くだけでも価値があります。タイ国際航空が3月から名古屋発の深夜便を飛ばそうです。夜中に乗って朝5時にバンコク着。かなり魅力的です。

<キャンヘルプタイランドネットワーク通信 Vol.40>

発行 キャンヘルプタイランド

発行人 西川 弘達

編集人 坂 茂樹

発行日 2008年1月26日

住 所 〒450-0003

名古屋市中村区名駅南2-11-43

NPOステーション内

Tel & fax 052-566-5131

（OPEN：毎週火、木・土曜の13～17時）

E-mail: canhelp@npo-jp.net

ホームページ: <http://www.canhelp.npo-jp.net>